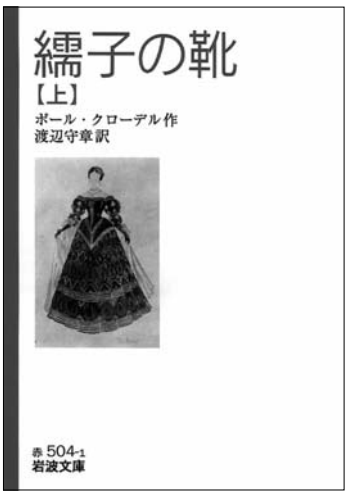
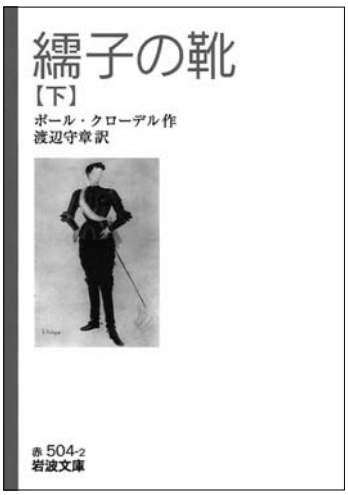


10月14日刊行



12月15日刊行予定

ポール・クローデル（1868-1955）は、20世紀フランスの最も重要な作家・劇詩人で、外交官でもあり、日本には大正年間に5年近く大使として滞在し、日本の文化を深く愛した。滞日中に完成する長編戯曲『**繻子の靴**』は、詩人が生涯の集大成と考えた壮大な規模の作品で、16世紀スペインを中心に、新旧両大陸に展開される若い貴婦人**ドニャ・プルエーズ**と新大陸の征服者**ドン・ロドリッグ**との地上では叶わぬ恋を主軸とする。プルエーズに地上における不可能な政治的使命を託す夫ドン・ペラージュ、彼女に邪な恋を抱く背教徒**ドン・カミーユ**という悲劇的な四角関係と対をなすようにして、**ドニャ・ミュジーク**とナポリの副王の幻想的な恋物語が展開する。これらの主筋に絡む道化芝居の千変万化。この「**四日間のスペイン芝居**」は、ワーグナーの『ニーベルンクの指輪』四部作を凌駕する**世界大演劇**であり、西洋と東洋の、古典と前衛の演劇言語が絢爛たる火花を散らす、まさに**グローバルな祝祭演劇**である。

クローデルの戯曲は、**長短入り混じる独特の自由詩形**で書かれており、まずその**言葉の力**を、**俳優の声=身体**において捉えることが不可欠である。今回の《**朗読オラトリオ**》は、まずは**劇詩人の言葉の響きあう場を、書物のページから現実の空間へと開いてみたい**。

渡邊守章

関　連　情　報

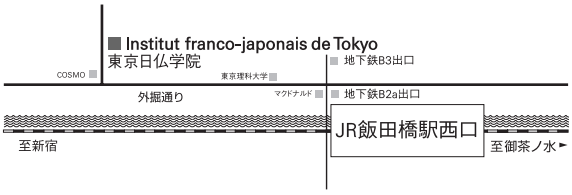
12月1日（木）18時
東京日仏学院　ヴィデオ上映
『真昼に分かつ』
（1988年／演劇集団円・Parco Part 3）
◎ポール・クローデル=作　渡邊守章=訳・演出
◎出演　後藤加代・佐古雅誉・勝部演之・有川博　他
◎解説　渡邊守章
◎入場無料

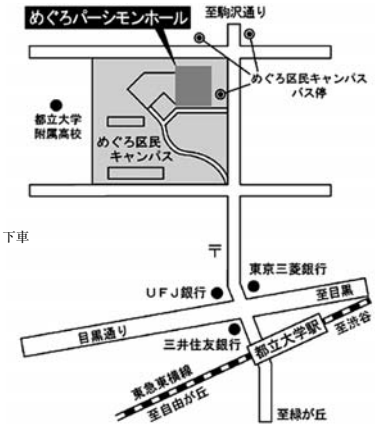
『真昼に分かつ』
佐古雅誉・後藤加代

2006年1月15日（日）14時開演
宝生能楽堂（水道橋）
空中庭園第九回公演
ポール・クローデルの詩による創作能
『薔薇の名――長谷寺の牡丹』
◎作・構成・演出　渡邊守章
◎節付・作舞　観世榮夫
◎出演　観世銕之丞・梅若晋矢・茂山逸平・観世榮夫　他
◎先行予約受付中
空中庭園（電話 03-5753-0418・ファックス 03-5753-0419）
◎全席指定　S席 8,000円／A席 6,000円／B席 5,000円
学生席（当日のみ）3,000円

『薔薇の名―長谷寺の牡丹』
観世銕之丞

東京日仏学院　L'INSTITUT 東京日仏学院
新宿区市谷船河原町15　電話 03-5261-3933〔代〕



めぐろパーシモンホール 小ホール　MEGURO PERSIMMON HALL
目黒区八雲1-1-1 めぐろ区民キャンパス内　電話 03-5701-2924〔代〕
※駐車場は駐車台数に限りがございますので、
ご来館には公共交通機関をご利用ください。

●東急バス
［渋　34］
渋谷駅～東京医療センター
［多摩01］
多摩川駅～東京医療センター
［黒　07］
目黒駅～弦巻営業所
［都立01］
成城学園前駅
～都立大学駅北口
（北バス停のみ停車）
・各バス「めぐろ区民キャンパス」下車
徒歩1分
●東急東横線
「都立大学駅」下車 徒歩7分